島本町立歴史文化資料館 館報第11号

令和元年12月

島本町立歴史文化資料館

はじめに

京都・大阪という両都市のちょうど中間に位置し、東西の日本の歴史や文化を繋いできた町、島本町の歴史文化資料館の役割は、島本町の文化や歴史を後世に伝えていく上で大変重要なものだと思います。

平成30年度は「開館10周年」を迎えて、資料館内の展示内容の模様替えを行いました。

常設展では「ひと・もの・みち」をテーマに日本の歴史の中で、決して知名度の高くない島本町から見た日本の歴史や文化、特に先人から受け継ぎ育んできた島本町独自の「文化」や「風土」、「生き方」を中心としてテーマ設定をしました。

また、企画展として桜井地区での発掘調査を「町内発掘調査成果速報展」として展示しました。秋の企画展では、「若山神社の文化財～本殿と絵馬～」と「水無瀬駒　関連資料」実物展示を行ったところ、来館者の皆様からご好評をいただきました。

講演会では、「島本町の豊かな文化財」というテーマで島本町文化財保護審議会会長の吉原 忠雄 氏にご講演いただきました。秋の企画展で展示した若山神社の文化財をより深く知っていただくために、「登録有形文化財若山神社本殿～その特徴と建築の経緯を探る～」というテーマで大阪府教育庁　文化財保護課　地村 邦夫 氏に、そして「絵馬を語る～考古学からみた絵馬の歴史～」というテーマで帝塚山大学教授 清水 昭博 氏にご講演いただきました。ご講演を聞かれた来館者の皆さんから、郷土島本町の文化財と若山神社の歴史・絵馬の歴史を深く、分かり易く学ぶことができたと高い評価をいただきました。

島本の神事展では、尺代・西光寺「報恩講」の展示や、「むかしのくらしと農家のしごと」というテーマで、民具・農具を展示しました。これには町内の小学生が社会科の勉強で、見学に来てくれました。普段でも町内の小学生や中学生の子ども達が、島本町の歴史を「もっと知りたい」「へぇー島本町ってこんなところ、すごい！」といった感想も言っていました。

このように、島本町の歴史を老若男女問わず、興味深く楽しく学べる資料館をめざして職員一同、精一杯取り組んでおりますので、ご協力とご支援をお願いいたします。

令和元年　12月吉日

島本町立歴史文化資料館
館　長　　三津井 清隆

目　　次

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

講演会
「島本町の豊かな文化財」　講師　吉原　忠雄 氏 ・・・・3
「登録有形文化財若山神社本殿～その特徴と建築の経緯を探る～」
講師　地村　邦夫 氏 ・・・・5
「絵馬を語る～考古学からみた絵馬の歴史～」
講師　清水　昭博 氏 ・・・・7

展示
常設展「ひと・もの・みち」　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
歴史文化資料館「開館 10 周年」　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
企画展「町内発掘調査成果速報展」　・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
秋の企画展「若山神社の文化財～本殿と絵馬～」　・・・・・・・・・・・・ 10
「水無瀬駒　関連資料」実物展示　・・・・・・・・・・・・・・11
島本の神事展「尺代・西光寺 報恩講」　・・・・・・・・・・・・・・・・・11
企画展「むかしのくらしと農家のしごと」　・・・・・・・・・・・・・・・・11
体験講座
「瓦ストラップ・マグネットを作ってみよう！」　・・・・・・・・・・・・12
「『ジクソーパズル』で絵馬を学ぶ」　・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
資料館ボランティアの活動報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

事業報告
企画展・催物一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
公募による催物一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
入館団体　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
日誌抄録　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
利用状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

寄贈・寄託　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
受入れ図書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
町指定文化財一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

講演会　「島本町の豊かな文化財」

平成30年4月14日（土）
島本町文化財保護審議会会長
吉原　忠雄　氏

「島本町の豊かな文化財」というタイトルをつけさせて頂きました。狭い地域ですが、町外に流出した文化財や未指定の文化財も含めると 41 点もあります。水無瀬離宮があったということで国宝が２つもあり質的にも量的にも豊かですので、島本町内の文化財を知って頂きたいと思います。

後鳥羽天皇と水無瀬離宮関係の文化財は登録文化財を含めて 15 件あり町指定の水無瀬駒も含めると 16 件です。後鳥羽上皇が造営した水無瀬離宮は別荘として使われていたのですが、1216 年に水害で流失し翌年に場所を移して再建しています。大変権力のあった後鳥羽上皇ですが、1221 年承久の乱により隠岐に流されました。その関係の絵画として国宝の「紙本著色後鳥羽天皇像」があります。京都神護寺の伝源頼朝像を描いたといわれる藤原隆信の息子の信実の作と言われています。

それから関連の書跡等として国宝の「後鳥羽天皇宸翰御手印置文」は、亡くなられるまで天皇の側で身の廻りの世話をしていた水無瀬信成、親成親子に自分の為の御影堂を建てるようにという遺言です。天皇自ら手形を押してあります。重文の「後鳥羽院御置文案文」は、嘉禎３（1237）年、後鳥羽上皇が自分を弔うことを希望して水無瀬信成に宛てて出したものだと言われています。「後鳥羽院宸翰御消息」と「後村上天皇宸翰御願文」も重文で、重文３件と国宝２件のすべての国指定品は京都国立博物館へ寄託しています。

次は、重要美術品です。「後鳥羽天皇御四百回忌御法楽御短冊（後水尾天皇宸翰以下二十葉）」です。これは寛永 15（1638）年のもので、和歌を詠んだ短冊をアルバム状にしたものです。「後水尾天皇宸翰御懐紙」は、後鳥羽天皇の「見渡せば山もとかすむ水無瀬川、夕は秋と何思ひけん」という和歌を江戸初期の後水尾天皇が写したものです。「御歴代宸翰御法楽御短冊（後西天皇宸翰以下二十五葉）」は、法楽という神仏の前で詠んだ和歌を短冊にして奉納したものです。

次は建造物です。重文は２つで「水無瀬神宮客殿」は、桁行 11.8m、梁間 10.9m、という大変立派なものです。慶長５（1600）年に後水尾天皇から下賜されたのではないかと言われています。「水無瀬神宮茶室」は、こけら葺で、桁行 7.6m、梁間 5.2mの平屋の寄棟造になっています。格天井で江戸時代のものです。以下、水無瀬神宮の登録文化財です。「水無瀬神宮本殿」は木造の平屋で銅板葺、建築面積 89 ㎡、寛永年間に御所の建物を移築したものです。「水無瀬神宮拝殿及び弊殿」は平屋で銅板葺、建築面積が 149 ㎡で、昭和４（1929）年に建てられました。「水無瀬神宮神庫」は大正のもので、土蔵造、２階建て、瓦葺き、建築面積 24 ㎡の小さなものです。「水無瀬神宮手水舎」は屋根が大変立派で、木造、瓦葺、建築面積 5.5 ㎡、手水鉢付、大正のものです。「水無瀬神宮神門及び築地塀」は、木造、間口 2.8m、築地塀は瓦葺で総延長５m。北方に潜戸が付いています。江戸前期のもので、離宮の跡地にふさわしい格式を持っていると評価されているようです。

その他の国指定・登録文化財です。史跡「桜井駅跡（楠正成伝説地）」は、湊川へ出陣する楠木正成が、同行を願う正行をいさめて帰したと言われている所で、国の史跡で「島本町立歴史文化資

料館（旧麗天館）」は、桁行 11 間で約 25m、梁間 15m、入母屋造、桟瓦葺で裳階付きです。「若山神社本殿」は、ご祭神は素盞嗚尊の牛頭天王を祀っておられ、建物自体は江戸のものです。

次に大阪府指定文化財を紹介します。建造物では「関大明神社本殿」、慶長 10（1605）年から文化６（1809）年まで度々修理を行い、その棟札が 12 枚残っており、大変珍しいです。有形民俗文化財では、「若山神社『東大寺村おかげ踊図絵馬』」があります。江戸のものです。また、町内の天然記念物として、「大沢のすぎ」、「尺代のやまもも」、「若山神社のツブラジイ林」があります。

次は島本町指定文化財を紹介します。全国的に有名な歴史資料の「水無瀬駒」は安土桃山に水無瀬兼成が作りました。駒は後陽成天皇や足利義昭、豊臣秀次、徳川家康などに納めたようです。納め先を書いた「将棊馬日記」と「象戯圖」も関連資料として町の指定文化財第１号になりました。

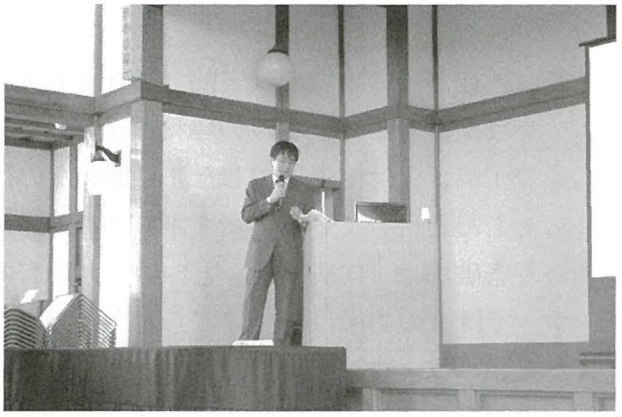
第２号は彫刻の「神像（伝　聖徳太子七歳像）」です。一木造りで、10 世紀の初めの頃のものです。第３号は、桜井にある宝城庵という禅宗のお寺の「薬師如来立像」です。像高が 96.5cm、檜の一木造りで古い構造しており、彩色仕上げで典型的な平安後期のスタイルです。第４号は、山崎の「勝幡寺　薬師如来立像」です。基本は平安後期スタイルですけど衣のきざみかたが固い感じになっているところから鎌倉に入るとみられます。次は、「勝幡寺　元三大師みくじ関係資料一式」です。おみくじは天台宗の中興の祖といわれてる良源（元三大師）が始めたといわれています。このおみくじの版木とみくじ竹、みくじ箱、札を納めるみくじ箪笥がほぼ一式揃った大変貴重なもので、町の有形民俗文化財第１号に指定されました。それから考古資料として「須恵器　大甕」があります。ほぼ完形で大変珍しいものです。桂川と宇治川の合流地点に近い所で見つけられました。山崎辺りに港があり、こういう大きなものを船で運んだ証拠になることを示す資料です。次は有形民俗文化財で「若山神社　絵馬」４面。狩野派系統の絵です。作者もいつ描かれたかもわかっています。

次に未指定文化財です。「後鳥羽天皇画像（法体）」水無瀬神宮にありまして、これは私も写真でしか知りません。次の「愛染明王坐像」は、鎌倉のものです。後鳥羽上皇が念持仏にして持っておられたものだと思います。次に古文書として、「水無瀬神宮文書」があります。これは中世近世合わせてある程度の数があり有力な指定候補となっています。町内の旧家はたくさんの古文書をお持ちです。将来的には指定になっていくだろうと思います。そして、「水無瀬離宮関係遺跡」や「遺跡出土品」があります。彫刻では地蔵院の「地蔵菩薩立像」があります。像高 264 ㎝の大きなお地蔵さんです。鎌倉中期頃のもので寄木造りです。これも間違いなく指定になるものです。

それから、町内から出てしまったのですけど優秀な仏像があります。廃寺となった西観音寺（現椎尾神社）の「閻魔王坐像」、「五道太神」、「太山府君」、「司命」、「司録」です。鎌倉前期のもので、現在は大山崎町の宝積寺にあり、重文になっています。もうひとつは、廃寺になった釈恩寺の本尊の「十一面観音像」です。10 世紀後半ごろのもので、今は高槻市の霊松寺に移ってしまいました。

これで全部を紹介しました。終わりに、大阪市内に国宝が 35 件、大部分がコレクションです。大阪府内で国宝が 60 件あります。摂津国では、四天王寺に６つ、箕面市に１つ、高槻市に１つあります。それから茨木市の法人が刀を２つ持っています。ですから、島本町内にゆかりの国宝が２つあるということは、これは大変意義があることだと思います。まだまだ指定になるようなものがあるんだというところも理解して頂きたいと思います。量的にも質的にも島本町は文化財の豊かな所です。ですからもともと住んでおられた方も、新しくこちらに越してこられた方も是非本物をたくさん見て頂いて楽しんで頂ければというふうに思います。ご静聴ありがとうございました。

講演会「登録有形文化財若山神社本殿
～その特徴と建築の経緯を探る～」



平成 30 年 10 月 14 日（日）
大阪府教育庁文化財保護課
地村　邦夫　氏

若山神社は、若山と呼ばれる山の中腹にご鎮座されている神社で、この辺り一帯の氏神様です。境内から見渡すと、北河内はもとより中河内や京都府の南部まで広く見渡すことができる、すばらしく景色のいいところです。本殿でお祀りされている神様は素戔嗚尊です。境内には本殿以外にもいくつも社殿があり、全体で若山神社を構成しています。

若山神社は江戸時代末まで「西八王子社」と呼ばれていました。戦国時代や江戸時代の古文書には西八王子社と記されています。また、江戸時代の書物には「広瀬神祠」と書かれているものもあります。「若山神社」と改称したのは明治時代のことでした。こうした神社の歴史を詳しくまとめている書物が『若山神社史』です。若山神社に伝えられた古文書を整理し、神社の歴史を明らかにされた労作であり、水無瀬地域の歴史を解き明かす上でも貴重な書物です。

さて、若山神社の創建と由緒ですが、文武天皇治世の大宝元（701）年に牛頭天王が僧行基に神がかりし、その宣託により牛頭天王を祀ったのが始まりだと伝えられています。牛頭天王は素戔嗚尊と同一視される神で、本来の姿は薬師如来だと言われています。少しややこしいのですが、江戸時代までは「神仏習合」といって神道と仏教は密接に結びついていました。境内の奥にある神輿庫は、元は薬師堂で、仏教と神道が密接であった時代の名残ということができます。

神社に付属し、神社を管理しているお寺を「別当寺」と言います。若山神社の別当寺は、戦国時代末期まで勝幡寺が務めていましたが、江戸時代からは松泉坊に交代しました。元禄５（1692）年の「西八王子社明細書上ケ」という古文書には、「昔から松泉坊が若山神社の事を取り仕切ってきた。神主などはおらず、氏子が宮座をつくり、神社の維持に勤めてきた」ということが書かれています。松泉坊については「天台宗正覚寺の末寺である」とあり、さらに京都所司代を歴任した板倉勝重より社領等を安堵されたことや、境内の広さや建物のことも書かれています。その約 100 年後、天明３（1783）年の「寺社分限御改書上帳面」には、別当の屋敷や土地の広さ、境内は除地（税金が免除された土地）で、京都所司代から保証されたものだということや、松泉坊がいつ開かれたお寺かはよくわからないと書いてあります。このように古文書からは当時の若山神社とそれを支配していた松泉坊について具体的に知る事ができます。

また、江戸時代から明治時代にかけて、社殿や境内の様子がわかる史料が残されています。「西八王子社氏地絵図」という貞享２（1685）年に描かれた絵図を見ると、境内の建物自体は建て替わっていますが、建物の配置は現在もよく踏襲されていることがわかります。先に取り上げた「西八王子社明細書上ケ」や「若山神社明細帳」などの史料に記された境内の建物の記録ともほぼ一致しています。また、享保 20（1735）年の『摂津志』や、寛政８～10（1796～1798）年の『摂津名所図会』といった書物にも「広瀬神祠」という名称で若山神社のことが記されています。これはやはり、

若山神社がこの地域の代表的な神社として認識されていたからだと思います。

では次に若山神社本殿の建築を見ていきましょう。本殿は、三間社流造です。屋根は、今は銅板葺ですが、元は檜皮葺でした。特徴的なのは正面中央の唐破風です。普通の唐破風は屋根の手前にちょこんと付いているのですが、ここの唐破風は手前に大きく突き出した堂々たるものです。こういう唐破風は「向唐破風」といい、大阪府内では非常に珍しいものです。彫刻も非常に凝っています。ではこの本殿はいつ建てられたものなのでしょうか。我々が建築年代を判断する際、一番ありがたいのは、建築年代が記された棟札や普請文書が残っていることです。棟札はなくとも外から見えないところに大工が建築した年を書いてくれていることもあります。しかし書かれたものを鵜呑みにすることはできません。建築の時代ごとの特徴を見極め、それを棟札や普請文書に記された建築年代と照らし合わせて確認する必要があります。若山神社本殿には、棟札と旧記の写しがあり、文化４（1807）年４月 17 日と書かれていました。建物の特徴も江戸時代後期の物ですので矛盾はありません。こうして文化４年に建った貴重な社殿であると認められ、登録有形文化財として登録されたわけです。

最後に、本殿建築の経緯が分かる史料が残っているのでお話したいと思います。江戸時代の建築の手続きは、①大坂町奉行所に建築願を出して、奉行所の担当者が確認。②地域の大工組（大工の組織）によるチェックで、大工組頭の添手形をもらう。③大坂大工組代表者である大工年寄に書類を持っていき、裏書を書いてもらう。④それを再び奉行所に提出し、正式に認可を受ける。という手続きが必要でした。若山神社の再建・改修にあたっては、文化２（1805）年 10 月 13 日、松泉坊名義の建築願を大工の佐平が奉行所に提出し許しを得ますが、大坂大工年寄の野里屋久右衛門の所に書類を持っていったところ、大工組頭の添手形がなかったので断られました。そこで、佐平は久右衛門に、「自分はどこの大工組にも属していないので組頭から手形を貰えず、提出することができませんが、久右衛門さんには迷惑を掛けません」という書類を提出し、どうにか認めてもらい、２年後に本殿の再建を果たしました。若山神社の棟札には「大工棟梁　粟辻佐兵衛」と書かれていて、字は違いますが、これが再建の手続きをおこなった「佐平」であることは間違いないでしょう。また佐平が 17 人の大工を従えて本殿の改築作業に関わったということも記されています。建築の申請から完成までの流れが大変よくおわかりいただけると思います。

そしてもうひとつ、神社には「御宮修覆二付、後代心得之覚并定書」という興味深い史料が残されています。実は若山神社本殿の特徴である“向唐破風”は、地元の強い要望で付けられたのですが、本当は作ってはいけないものでした。ではなぜ認められたのでしょうか。この史料には「もともと本殿に唐破風はなかったのだが、元からあったものを修復するということで今回限り奉行所が認めてくれた」と書かれています。また「今後建て替える時にも、修理として願い出ればいい」ともあります。つまり、その事をみんなよく心得て、この立派なお社を今後も守っていきなさい、という引継書なのです。地元のたくましさ、奉行所の柔軟な対応など、とても興味深いものです。

若山神社本殿の建築の素晴らしさだけでなく、当時の建築手続きや、そこに見える人間模様が伺える史料が今も残されているということは、若山神社の歴史的な価値をさらに高めていると思います。今回、若山神社本殿が国の登録有形文化財として認められたことを私自身も大変嬉しく思っておりますし、地元の方もこの素晴らしい社殿を残していく為に、引き続き尽力していただけたらと思います。どうもありがとうございました。

講演会「絵馬を語る
～考古学からみた絵馬の歴史～」

平成30年10月28日（日）
帝塚山大学教授
清水　昭博　氏

今日の講演は絵馬の話をさせていただきます。馬と人は古代から非常に深い関係にあり、やがて馬に願いを掛けるという考えができました。そうした考えのもとでできたものの代表的なものが絵馬であります。この度、島本町若山神社の絵馬が町指定文化財となったことと関連し、絵馬のルーツをポイントにしてお話をさせていただきます。

まず、少し変わった現代絵馬をご紹介します。奈良薬師寺の絵馬は、馬ではなく「心」という文字が書かれていますし、春日大社のハート型絵馬や、アニメのキャラクターを描いている絵馬があります。神奈川県要石神社の絵馬は、キセルに鍵がついている絵が描かれていて、禁煙の願いが込められています。このように現代、絵馬に色々な決意や願掛けをして奉納します。

さらに時代を遡ってみますと、江戸時代には馬や神仏の像、祭具や祈願者の礼拝像など色々なデザインの絵馬が奉納されています。島本町指定文化財の若山神社「曳馬図絵馬１」は86㎝×134.5㎝でかなり大きい絵馬です。天明６（1786）年という年号と作者の名前も書かれています。中央の黒い馬の両側に手綱を持つ人物が描かれ、板全体に馬を描いています。他に黒い馬に猿が乗っている「猿猴乗馬図絵馬」と、男２人が馬をひっぱっている「曳馬図絵馬２」があります。また、「竹虎図絵馬」は直径80㎝の珍しい円形の絵馬です。江戸時代の絵馬は大型化していて、絵馬を奉納した人物の名前や年号が書かれている特徴が、現在の絵馬に通じると言えます。

続いて、中世の絵馬です。奈良県葛城市の当麻寺曼荼羅堂からみつかった絵馬には馬と馬曳きの顔が描かれていて、若山神社のような絵馬のルーツが室町時代初期まで遡る事がわかります。秋篠寺の絵馬には馬が描かれていて、古くなるほど画題が馬に集約されてくることがうかがえます。

次に、絵画史料からみて、絵馬の歴史が平安時代まで遡ることができます。平安時代後期に描かれた『当麻寺年中行事絵巻』の本殿の柱には絵馬が飾られていて、絵馬を神社に奉納していたことがわかります。鎌倉時代に描かれた『一遍上人絵伝』の中には、築地の壁の上に絵馬が描かれています。この絵馬は２枚１セットで、赤や緑の着色がされていて、若山神社の絵馬に通じる色付きの絵馬が鎌倉時代にあったことを示しています。室町時代の『慕帰絵詞』は、ご神木の前に跪いた僧と貴族の男性が祈りを捧げている絵で、木の枝にたくさんの絵馬が２つセットでかけられています。絵馬を２つセットにする場合が多かった事がわかります。

つぎに、発掘で出土した絵馬を紹介します。全国ではたくさんの遺跡の発掘調査が行われていますが、絵馬は全国で約100点しか見つかってない、非常に珍しい遺物です。まずは、奈良時代の平城宮二条大路から見つかった絵馬です。ここは藤原不比等の息子の藤原麻呂が住んでいた場所で、絵馬と一緒に天平９(737)年頃の木簡がみつかっています。大きさは、横が27.2㎝、縦が19.6㎝です。蛍光Ｘ線分析により実際は美しく色付けされていた事がわかっています。馬の足も頭も木の

板いっぱいに描かれていますが、尻尾が欠けて描かれています。続いて、奈良市の日笠フシンダ遺跡から見つかった絵馬は、赤外線を通すと、馬の顔の表情や筋肉、尻尾や鞍の表現もはっきりと見えて、色も復元できました。大きさは二条大路の絵馬と同じです。先程と同じく、尻尾は欠けていて、さらにたてがみも欠けています。また、大阪の加美遺跡から出た絵馬の馬は右向きと左向きがあり、中世の絵画に見られた２つをセットで使う例が、古代にもあったことを示しています。

続いて、大阪四條畷市の讃良郡条里遺跡から出てきた絵馬には神馬と書いてあり、神に奉ずる馬だと考えられていたことがわかります。また、奈良時代に役所があった静岡県の伊場遺跡からも絵馬が見つかっています。同じく、静岡県の神明原元宮川遺跡から出た絵馬は、小ぶりで馬が墨描きされていて、僧が馬を曳いている姿が若山神社の絵馬と同じです。

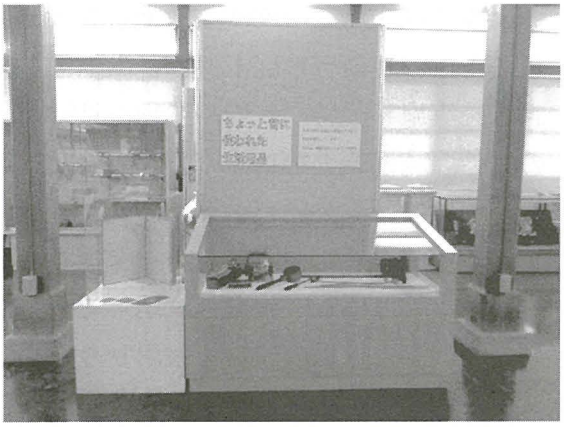
近畿地方から離れた例では、秋田県の払田柵跡の絵馬があります。頭の部分が欠けているところが平城宮で出土した絵馬と同じです。島根県の青木遺跡の絵馬も役所に関係した場所から出てきています。このように平城宮を中心とした大和、河内、摂津以外の、離れた地方からも絵馬が出土していて、役所から出土している所が絵馬の性格を表していると思います。以上、現在から奈良時代までの絵馬を遡ってお話をしました。

次に絵馬が考古学の解釈でどう理解できるのかを説明します。絵馬の役割は、祈雨と除災がありますが、最初の役割は、災いを除く為に作られたと考えています。平城宮の内裏周辺の排水溝から絵馬が出土したことから、恐らく何らかの災いを除くための儀式や祀りをしてから溝に捨てたと思います。つまり内裏にいる天皇や天皇家の人々の為に絵馬が使われました。また、平城京二条大路の道から出てきた絵馬も、藤原麻呂邸の外側に捨てたもので、災いを防ぐ目的で絵馬が使われ、廃棄したと考えられます。続いて、平城京のすぐ外側にある大和郡山市の稗田遺跡から出土した絵馬は、平城京を災いから防ぐために使われたと思います。そこで興味深いのが日笠フシンダ遺跡です。ここは大和と伊賀の境界で、ここで絵馬を使って大和に災いが入るのを防いだのでしょう。日笠フシンダ遺跡からは絵馬以外に祭祀遺物の１つである土馬がたくさん出ています。土馬も災いを防ぐ道具として使われたと考えられます。平城京を発掘すると、色々な祭祀遺物が出ます。そうした祭祀遺物のなかで、絵馬も土馬と同じく、馬形として位置付けられます。絵馬が誕生する以前、馬形は土や木で作りました。藤原京を掘るとたくさん土馬が出土します。当時の人は災いを馬に乗せて別の世界に送ろうと考えました。ほとんどの発掘で出てくる土馬は、足や首が欠けています。絵馬にも尻尾やたてがみが欠けているものもありましたが、いずれも災いが現実の世界へ戻ってこないように、馬の身体の一部を欠如させたのではないかと考えられます。

最後に、絵馬が誕生した背景をお話します。現在のところ、一番古い絵馬は、天平９年の平城京二条大路の絵馬です。それにつぐのが日笠フシンダ遺跡の絵馬で、天平 10（738）年の木簡と一緒に出土しています。おそらく天平 10 年に遺跡周辺で陰陽博士が除災に関わる祭祀をしたようです。『続日本紀』によると、天平９年には全国的に干ばつがあり、天然痘が流行しました。絵馬の出土場所が平城宮周辺や平城京や大和国の境界であることから、絵馬は都への天然痘を防ぐ目的で創作された祭祀具であったと考えられます。現在、絵馬は様々な人々の願いを叶える道具ですが、歴史を遡ると天平９年に突き当たります。その時に、大規模な災いから防ぐ道具として作られたものが絵馬だと思う次第です。今回は若山神社の絵馬の起源に関連し、発掘で見つかった絵馬を中心にお話をさせていただきました。ご静聴どうもありがとうございました。

展示

常設展　「ひと・もの・みち」



島本町は、大阪府と京都府の境に位置し、桂川、宇治川、木津川の三川が合流する地にあります。町の中心を西国街道が通り、古来水陸の交通の要衝として栄えてきました。

その街道沿い国史跡桜井駅跡の南側、ＪＲ島本駅のすぐ東側に当資料館があります。

写真は、「ちょっと昔に使われた生活用品」展として、昭和初期の裁縫道具を展示したものです。

裁縫道具は、町内の方々から寄贈していただいたものを展示しました。

開館時間　午前９時 30 分 ～ 午後５時
休 館 日　毎週月曜日（祝日の時は開館し、翌日に休館）
　　12 月 29 日 ～ １月３日　その他臨時に開館・休館する場合があります。
入 館 料　無料

歴史文化資料館　「開館 10 周年」

展示期間：平成 30 年４月 10 日（火）～　７月１日（日）

資料館は、平成 30 年度で開館 10 周年を迎えました。そこで、展示内容はこれまでも少しずつ変更してきましたが、開館 10 周年を記念して大きく展示替えを行いました。

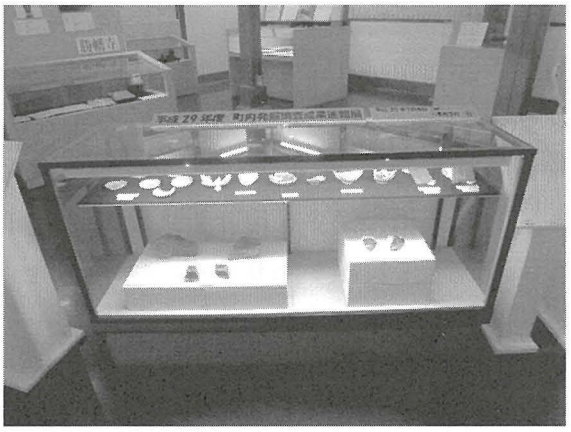
島本町は、奈良時代には東大寺の荘園が営まれ、平安時代から鎌倉時代には複数の離宮が築かれました。

山城国と摂津国の国境に位置し、江戸時代以前も両地域の多様な文化を受容することで、豊かな文化を育んできました。近年、発掘調査が増え、文献には見当たらない歴史も明らかになり、調査の成果を基に、発掘で出土した遺物を紹介しています。

また島本町文化財保護審議会会長の吉原忠雄氏を迎え講演会を実施し、町内に点在する文化財を詳しく紹介していただきました。当館職員により新たな展示品の解説と紹介も行いました。

企画展　「町内発掘調査成果速報展」

展示期間：平成30年７月４日（水）～　８月５日（日）



平成29年度は、山崎地区１件、桜井地区２件、広瀬遺跡１件、若山台地区１件、百山地区１件の計６件の調査を実施し、特に遺構や遺物が見つかった桜井地区の２件の試掘調査を紹介しました。

１件は桜井遺跡内の調査であり、近世の土坑や宅地造成の痕跡を確認することができました。

もう１件は埋蔵文化財包蔵地外で行った調査ですが、縄文時代から近世の遺物を確認したため、新しい埋蔵文化財包蔵地「尾山遺跡」として認定されました。

平成30年度の「町内発掘調査成果速報展」では、２件の調査で見つかった縄文時代～近世の遺物を展示しました。

秋の企画展　「若山神社の文化財～本殿と絵馬～」

展示期間：平成30年10月11日（木）～　12月２日（日）

平成30年１月15日に町指定文化財第７号に「若山神社　絵馬」４面が指定され、同年３月27日には、「若山神社本殿」が国登録有形文化財に正式登録されました。

これらを記念して、秋の企画展を開催しました。

町指定文化財となった絵馬４面に加えて、府指定文化財で「若山神社『東大寺村おかげ踊図絵馬』」１点の併せて５面の写真パネル展示と、それぞれの絵馬の詳細解説を行い、加えて国登録有形文化財に登録された「本殿」の写真パネル展示と解説を行いました。

期間中には、国登録有形文化財に正式登録されたことを記念し、若山神社で「登録プレート除幕式」を行い、普段は観ることができない貴重な文化財を「若山神社の文化財現地一般公開」と題して、目の前で実物の絵馬を観ることができる機会を設けました。

展示期間中は２回の講演会を開催し、また、来館者を対象とした体験講座「『ジグソーパズル』で絵馬を学ぶ」も実施しました。

「水無瀬駒　関連資料」実物展示

展示期間：平成 30 年 11 月３日（土・祝）・４日（日）

本町の文化祭開催に併せて、実物展示を行いました。

「小将棋（八十二才銘）」漆書、「中将棋（八十六才銘）」墨書と中将棋の棋譜を紹介した「中将棋全集」を展示しました。

島本の神事展　「尺代・西光寺 報恩講」

展示期間：平成 30 年 12 月５日（水）～　１月 27 日（日）

本町の北部に位置します尺代・西光寺の行事「報恩講」の写真パネルを展示しました。

「報恩講」とは、仏教各宗派で毎年宗祖への報恩のために営む法会のことで、年間行事の中でも最大なものです。別に御正忌、お七夜などとも呼ばれています。

西光寺でも毎年「報恩講」が営まれ、参列者全員で念仏を唱えた後、ご住職の布教を伺いました。

企画展　「むかしのくらしと農家のしごと」

展示期間：平成 31 年１月 30 日（水）～　３月３日（日）

冬期恒例の展示となりました本展は、昔使われていた民具や農具を展示し、むかしのくらしと農業について紹介しました。

社会科の体験学習に町内４校の小学３年生が今年も訪れ、熱心に見学をしていました。初めての縄ない機や足踏みミシンなどを体験し、楽しそうな様子が伺えました。

また、昔を懐かしまれる大人の方も多く来館されました。

体験講座　「瓦ストラップ・マグネットを作ってみよう！」

日程：平成30年7月25日（水）・26日（木）

広瀬遺跡では、土器以外にも水無瀬離宮で使用されたと考えられる瓦が出土しました。この瓦の文様の范型と石粉粘土、ストラップ金具、磁石等を使用して、瓦の文様のストラップとマグネット作りをしました。

子どもたちは暑い中、楽しそうに瓦の文様に思い思いの色を付けて、ストラップやマグネットを作成していました。

体験講座　「『ジクソーパズル』で絵馬を学ぶ」

日程：平成30年10月20日（土）

平成30年1月15日に町指定文化財第7号に「若山神社　絵馬」4面が指定されました。

町指定文化財への指定を記念して、「曳馬図絵馬1」の図柄を好きな形に切って、オリジナルのパズルを作成する体験講座を実施しました。また、実物大に作成した「曳馬図絵馬1」のパズルを楽しみながら、絵馬を学びました。

資料館ボランティアの活動報告

1期、2期のみなさんと資料館担当職員で毎月一回の定例会を開催しています。

資料館内外で企画される活動に参加・協力いただき、特に団体予約で説明を希望される来館者への解説や、対応をしていただいています。

また、30年度は「瓦ストラップ・マグネットを作ってみよう！」や「『ジクソーパズル』で絵馬を学ぶ」の体験講座、「むかしのくらしと農家のしごと」展の体験学習コーナーに協力していただきました。

事業報告

企画展・催物一覧

開催日	企画展名
平成30年４月10日(火)～７月１日(日)	歴史文化資料館「開館10周年」
平成30年７月４日(水)～８月５日(日)	企画展「町内発掘調査成果速報展」
平成30年10月11日(木)～12月２日(日)	秋の企画展「若山神社の文化財～本殿と絵馬～」
平成30年11月３日(土・祝)・11月４日(日)	「水無瀬駒　関連資料」実物展示
平成30年12月５日(水)～平成31年１月27日(日)	島本の神事展「尺代・西光寺　報恩講」
平成31年１月30日(水)～３月３日(日)	企画展「むかしのくらしと農家のしごと」

開催日	催物
平成30年４月14日(土)	講演会「島本町の豊かな文化財」吉原忠雄氏
平成30年４月15日(日)	第75回コンサート「女声合唱団JyoJyo～母への想いを胸に～」
平成30年５月27日(日)	第76回コンサート「チェロとピアノのコンサートvol.３」
平成30年７月25日(水)・７月26日(木)	体験講座「瓦ストラップ・マグネットを作ってみよう！」
平成30年10月14日(日)	講演会「登録有形文化財若山神社本殿～その特徴と建築の経緯を探る～」 地村邦夫氏
平成30年10月20日(土)	体験講座「『ジグソーパズル』で絵馬を学ぶ」
平成30年10月21日(日)	第77回コンサート「松永昌子ピアノで綴る旅シリーズPartⅤ～ドイツ３大Ｂ～」
平成30年10月28日(日)	講演会「絵馬を語る～考古学からみた絵馬の歴史～」清水昭博氏
平成30年11月11日(日)	第78回コンサート　「～藤原靖彦リコーダー　リサイタル～ 楽器の原点・リコーダー/宮廷の華・チェンバロの演奏を 通して宮廷の華バロック音楽を聴く」
平成30年11月18日(日)	第79回コンサート　「福井英里子ヴァイオリンリサイタルVOL・４ ～ロマンティックな名曲を集めて～」
平成31年３月24日(日)	第80回コンサート　「原田泰彦＆吉久夏子デュオリサイタル ～移りゆく四季への想い～」

公募による催物一覧

開催日	内容
平成30年４月22日(日)	「島本音楽フェスティバル」商工会青年部・にぎわい創造課
平成30年４月26日(木)	「童謡クラブ・歌声さろん」
平成30年５月15日(火)	「童謡クラブ」
平成30年５月20日(日)	「ガールスカウト大阪府第90団」
平成30年６月２日(土)	「講談」島本町社会福祉協議会ボランティアセンター
平成30年６月26日(火)	「詩吟発表会」直心・青葉吟詩会
平成30年７月１日(日)	「日本ボーイスカウト島本第１団」
平成30年７月３日(火)～７月８日(日)	「七夕飾り」島本竹工房
平成30年８月18日(土)	「かぐや姫の夕べ：竹のオブジェ展示」島本竹工房
平成30年10月16日(火)	「童謡クラブ」
平成30年10月27日(土)	「童謡クラブ・歌声さろん」
平成30年４月～平成31年３月 毎週火・木・土曜日	「朝市」島本町農業振興団体協議会

入館団体

平成30年度（2018）		
4月18日	まるく会(堺・河内長野市　等)	
	三水会（大阪市）	
4月25日	新規採用職員施設見学(島本町)	
	記・紀・万葉を歩く会（西宮）	
4月26日	四条畷楠正行の会（四条畷市）	5団体
5月 3日	京都百人一首・かるた研究会(京都)	
5月 9日	歩みの会（大阪市）	
5月13日	かもなすクラブ（京都）	
5月19日	新日本歌人協会・高槻支部（高槻市）	
5月24日	(有) 丹生新聞舗（高槻市）	5団体
6月 7日	京阪電鉄OB会	
6月10日	長岡京市ふるさとガイドの会（長岡京市）	
6月13日	高齢者大学 中世の会	
6月24日	大阪高齢者大学歴史街道散歩クラブ（大阪市）	4団体
7月10日	フランクフォート市ホームステイ施設見学	
7月25日	てくてく会（滋賀県）	
7月29日	旅人企画（大阪市）	3団体
8月18日	遊歩楽会（豊中市）	
8月20日	町村教育委員会連絡協議会夏季研修	
8月26日	西国街道ウォーク　山陽新聞　第14回	
	日本の歴史文化研究会	4団体
9月12日	喜望会（富田林市）	
9月16日	平安京京都研究集会（大山崎町）	
9月21日	オリーブの実	
9月22日	温故漫遊くらぶ（京都・大阪・奈良　等）	4団体
10月 3日	高齢者大学 歴史中世科	
10月 5日	歴史クラブ(吹田市)	
10月11日	大阪北部コミュニティカレッジ	
10月18日	島本町初任者教員研修（島本町）	
10月25日	川西市高齢者大学りんどう学園ことば学科	5団体
11月 6日	ONCC中世教室（茨木市）	
11月 7日	京都ハイクファミリー	
11月 8日	京都百人一首・かるた研究会	
11月10日	西日本鉄道ＯＢ会高槻支部ハイキング同好会	
	古志俳句会	
11月14日	万葉をよむ会（川西市）	6団体
12月 1日	前川ゼミ（大阪）	
12月13日	島本高校　国際交流（島本町）	
12月15日	三士会（神戸市）	3団体
1月24日	阪急京都沿線観光あるき	
1月27日	ほろよい散歩仲間（大阪）	2団体
2月 1日	第四小学校体験学習３年生（島本町）	
2月 5日	第三小学校体験学習３年生（島本町）	
2月 6日	第一小学校体験学習３年生（島本町）	
2月11日	大山崎ふるさとガイドの会（大山崎町）	
2月16日	ポッポの会	
2月21日	いきいき会（高槻市）	
2月26日	第二小学校体験学習３年生（島本町）	7団体
3月 8日	年金者組合長岡京支部　里山あるきサークル	
3月10日	ジャパニーズウイスキー発祥の地を訪ねて	
3月13日	茨木バラとカシの会	
	やまぶき園（島本町）	
3月28日	高槻市観光課	5団体

年間　53 団体入館

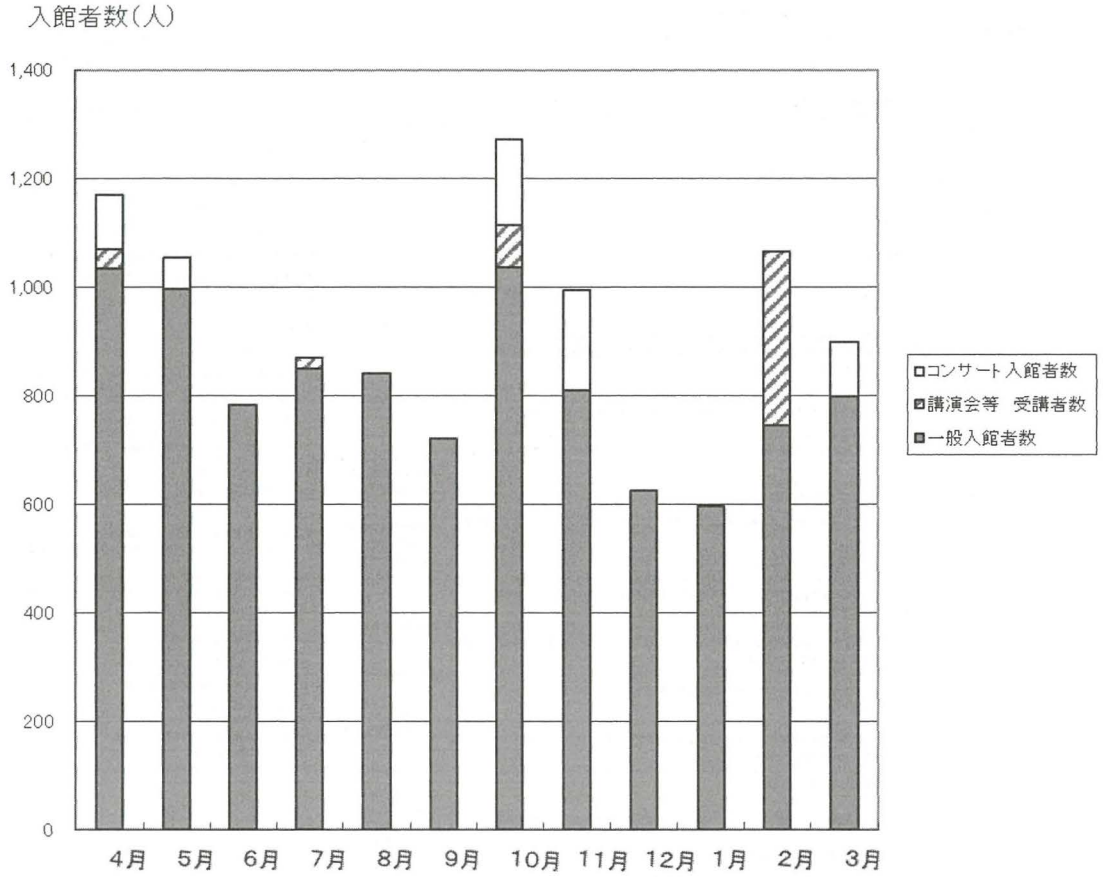
日誌抄録

平成30年度（2018）	
4月10日	歴史文化資料館「開館10周年」（～７/１）
4月12日	資料館ボランティア定例会
4月14日	講演会「島本町の豊かな文化財」（講師：吉原忠雄氏）
4月15日	第75回コンサート「女声合唱団JyoJyoコンサート」
4月22日	公募による催物「島本音楽フェスティバル」
4月26日	公募による発表「童謡クラブ・歌声さろん」
5月 6日	「開館10周年」記念　展示品解説・紹介
5月10日	資料館ボランティア定例会
5月12日	「開館10周年」記念　展示品解説・紹介
5月15日	公募による発表「童謡クラブ」
5月20日	公募による催物「ガールスカウト大阪府第90団」
5月27日	第76回コンサート「チェロとピアノのコンサートvol. 3」
6月 2日	公募による催物「講談」島本町社会福祉協議会ボランティアセンター
6月 7日	資料館ボランティア定例会
6月26日	公募による発表「詩吟発表会」直心・青葉吟詩会
6月28日	消防訓練
6月30日	東北大学災害科学国際研究所地震被害調査
7月 1日	公募による催物「日本ボーイスカウト島本第1団」
7月 3日	公募による催物「七夕飾り」島本竹工房（～7/8）
7月 4日	企画展「町内発掘調査成果速報展」（～8/5）
7月18日	資料館ボランティア定例会
7月20日	水無瀬離宮移築復元庭園保守・整備
7月25日	体験講座「瓦ストラップ・マグネット作ってみよう！」（～7/26）
8月17日	資料館新看板設置
8月18日	公募による催物「かぐや姫の夕べ：竹のオブジェ展示」島本竹工房
9月 5日	資料館外周塀工事
9月 6日	資料館ボランティア定例会
10月 4日	資料館ボランティア定例会
10月 8日	資料館外周塀工事
10月11日	秋の企画展「若山神社の文化財～本殿と絵馬～」（～12/2）
10月14日	講演会「登録有形文化財若山神社本殿～その特徴と建築の経緯を探る～」（講師：地村邦夫氏）
10月16日	公募による発表「童謡クラブ」
10月19日	水無瀬離宮移築復元庭園保守・整備
10月20日	体験講座「『ジグソーパズル』で絵馬を学ぶ」
10月21日	第77回コンサート「松永昌子ピアノで綴る旅シリーズPartⅤ～ドイツ３大Ｂ～」
10月27日	公募による演奏「童謡クラブ・歌声さろん」
10月28日	講演会「絵馬を語る～考古学からみた絵馬の歴史～」（講師：清水昭博氏）
11月 3日	「水無瀬駒　関連資料」実物展示（～11/4）
11月 8日	資料館ボランティア定例会
11月11日	第78回コンサート「～藤原靖彦リコーダー　リサイタル～ 楽器の原点・リコーダー/宮廷の華・チェンバロの演奏を通して 宮廷の華バロック音楽を聴く」
11月18日	第79回コンサート「福井英里子ヴァイオリンリサイタルVOL・４ ～ロマンティックな名曲を集めて～」
12月 5日	島本の神事展　「尺代・西光寺　報恩講」（～1/27）
12月 6日	資料館ボランティア定例会
1月10日	資料館ボランティア定例会
1月30日	企画展「むかしのくらしと農家のしごと」（～3/3）
3月 7日	資料館ボランティア定例会
3月24日	第80回コンサート「原田泰彦＆吉久夏子デュオリサイタル ～移りゆく四季への想い～」

利用状況

平成 30 年度入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般入館者数	1,034	997	784	849	840	720	1,036	809	625	597	746	798	9,835
講演会等　受講者数	36	0	0	21	0	0	78	0	0	0	320	0	455
コンサート入館者数	100	58	0	0	0	0	158	185	0	0	0	100	601
総入館者数	1,170	1,055	784	870	840	720	1,272	994	625	597	1,066	898	10,891



寄贈・寄託

平成 30 年度は 1,351 点の寄贈をいただきました。

内容	点数	内容	点数
石臼、杵、甕、七輪台　等	13	足踏みミシン	1
箪笥、勉強机、火鉢、磁器製枕	6	テープデッキ、黒電話　等	10
犂、大八車	5	掛軸、パネル、鑑札　等	6
棹秤、絹秤、錘、斗桶、斗棒	8	書籍、冊子、古文書、記念誌	1,302

合計	1,351 点

受入れ図書

発行	刊行物名
明石市民生活局 文化・スポーツ室 文化振興課	明石の歴史　第1号
朝倉市教育委員会	上秋月遺跡群　福岡県朝倉市上秋月所在遺跡の調査　朝倉市文化財調査報告書　第24集
	朝倉市文化財年報(平成25年度)朝倉市文化財調査報告書　第25集
	下古毛遺跡　朝倉市文化財調査報告書　第26集
	上須川遺跡　朝倉市文化財調査報告書　第27集
宗教法人 天野山金剛寺	史跡金剛寺境内中心伽藍石垣整備報告書
泉大津市教育委員会	泉大津市文化財調査報告54　泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報37
泉佐野市教育委員会	泉佐野市埋蔵文化財調査報告73　羽倉崎北遺跡
	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　第85号　三軒屋遺跡(16-3区の調査)
	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　第86号　湊遺跡(17-3区の調査)
	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要　平成29年度
泉佐野市教育委員会 公益財団法人 大阪府文化財センター	泉佐野市埋蔵文化財調査報告74　公益財団法人　大阪府文化財センター調査報告書第290集　泉佐野市　宮ノ前遺跡　日根野公民館・プール建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
泉佐野市教育委員会 熊取町教育委員会	史跡日根荘遺跡保存活用計画書
泉佐野市立 歴史館いずみさの	歴史通信　いずみさの　Vol30
和泉市	和泉市の歴史7　テーマ叙述編Ⅱ　和泉市の近世
猪名川町歴史文化遺産活性化実行委員会	平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業　川辺郡猪名川町における祭礼等状況調査報告書
	平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業　川辺郡猪名川町における多田院御家人に関する調査研究ーその3　平尾家史料調査ー別冊　復刻　宝塚新報北摂郷土史学新聞　附　六瀬年代録～多田院御家人調査研究史を読み解く～
	平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業　川辺郡猪名川町の木炭窯文化～調査報告書～
茨木市教育委員会	茨木市文化財資料集　第70集　平成29年度茨木市埋蔵文化財発掘調査概要ー平成29年度国庫補助事業ー
	茨木のキリシタンー信仰を捧げた人々ー
	第54回茨木市教育文化月間　市制施行70周年記念茨木市立文化財資料館テーマ展　総持寺　展示図録
茨木市立文化財資料館	茨木市立文化財資料館　館報　第3号
株式会社イビソク	イビソク京都市内遺跡調査報告第16輯　平安京左京三条四坊十五町跡ー亀屋町・上白山町における埋蔵文化財発掘調査報告書ー
	イビソク京都市内遺跡調査報告　第17輯　平安京左京九条四坊三町跡・烏丸町遺跡ー東九条南山王町における埋蔵文化財発掘調査報告書ー
	イビソク京都市内遺跡調査報告第18輯　白河街区跡ー聖護院山王町における埋蔵文化財発掘調査報告書ー
	イビソク京都市内遺跡調査報告第19輯　平安京左京三条三坊十二町跡・烏丸御池遺跡ー柿本町における埋蔵文化財発掘調査報告書ー
大阪府立狭山池博物館	大阪府立狭山池博物館　研究報告9
	平成30年度特別展　王者のひつぎー狭山池に運ばれた古墳石棺ー大阪府立狭山池博物館図録23
大阪狭山市教育委員会	大阪狭山市文化財報告書49　大阪狭山市内等採集考古資料調査報告書
	大阪狭山市文化財報告書50　大阪狭山市内遺跡群発掘調査概要報告書27
	狭山池築造1400年・狭山藩誕生400年記念　狭山池シンポジウム2016　城郭から考える近世社会と技術　ー狭山池が生み出した新たな一面ー記録集
	史跡狭山池保存活用計画書
大阪大学 総合学術博物館	大阪大学総合学術博物館　年報2017
大阪府教育委員会	大阪府教育庁文化財調査事務所年報21
	大阪府埋蔵文化財調査報告2017-1　西福井遺跡Ⅱー一般府道余野茨木線歩道整備工事に伴う発掘調査ー
	大阪府埋蔵文化財調査報告2017-2　宮園遺跡　ー大阪府営堺宮園第1期高層住宅(建て替え)新築工事に伴う発掘調査ー
	大阪府埋蔵文化財調査報告2017-3　府中遺跡　ー都市計画道路大阪岸和田南海線街路築造事業に伴う発掘調査ー
公益財団法人　大阪府文化財センター	公益財団法人　大阪府文化財センター調査報告書　第294集　川北遺跡3　バイパス送水管(藤井寺～長吉)整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	公益財団法人　大阪府文化財センター調査報告書　第296集　井尻遺跡3　ー般国道170号(十三高槻線)道路築造事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
大阪府立 狭山池博物館	平成30年度春季企画展「土木遺産展ー関西の橋梁めぐりー」　大阪府立狭山池博物館図録24
大阪府立 近つ飛鳥博物館	アスカディア・古墳の森　大阪府立近つ飛鳥博物館だより　2018　Vol48
	アスカディア・古墳の森　大阪府立近つ飛鳥博物館だより　2018　Vol49
	一須賀古墳群を考える
	大阪府立近つ飛鳥博物館平成30年度冬季企画展　歴史発掘おおさか2017～2018　ー大阪府発掘調査最新情報ー　大阪府近つ飛鳥博物館図録76
	大阪府立近つ飛鳥博物館　館報21
	大阪府立近つ飛鳥博物館　平成30年度秋季特別展　4世紀のヤマト王権と対外交渉ー東アジア情勢と古墳の変化ー　図録75
大阪府立 近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館だより　平成30年度夏季企画展図録「百舌鳥・古市古墳群に学ぶ、古墳と水のマツリ」
大阪府立 弥生文化博物館	平成28年度　大阪府弥生文化博物館　要覧
	平成30年度夏季特別展 弥生のマツリを探る　祈りのイメージと祭場[大阪府立弥生文化博物館図録64]
	平成30年度秋季特別展[大阪府立弥生文化博物館図録65]　発見！古代エジプトー7つのひみつと最新エジプト研究ー
	弥生時代の高地性集落とはー大阪における特徴と性質ー【大阪府立弥生文化博物館図録66】
大山崎町歴史資料館	第26回企画展　行基と山崎院
大山崎町の歴史・文化遺産を活かした地域活性化実行委員会	日本一、灯明油の町、おおやまざきから発信！「あかりまちだより」　第3号
	日本一、灯明油の町、おおやまざきから発信！「あかりまちだより」　第4号
岡山市教育委員会	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要　第10号
	岡山市埋蔵文化財センター年報17－2016(平成28)年度ー
	上伊福(済生会)遺跡4　岡山済生会総合病院病院Ⅰ期建設工事に伴う発掘調査
	大供本町(鹿田小)遺跡
	南方遺跡ー岡山済生会総合病院新病院建設に伴う発掘調査ー(第3分冊)
乙訓の文化遺産を守る会	乙訓文化　89号
貝塚市教育委員会	貝塚市埋蔵文化財調査報告　第86集　貝塚市遺跡群発掘調査概要40
柏原市立歴史資料館	柏原市立歴史資料館館報　第30号
	柏原市立歴史資料館だより　ゴンドラNO.15
	市制60周年記念　平成29年度春季企画展図録　令町ー三田家・寺田家からみた柏原村ー
	平成30年度夏季企画展　市制60周年記念　鍛冶の郷ー大県と田辺ー
	水野家文書
交野古文化同好会	石鎚　NO166号
交野市教育委員会	いま、甦る!!私部城
	交野市埋蔵文化財調査報告　2016-2　森遺跡Ⅺー交野市森北所在ー
	交野市埋蔵文化財調査報告　2017-Ⅱ　森遺跡Ⅻー大阪府交野市森北・森南所在ー
	交野市埋蔵文化財調査報告　2017-Ⅲ　平成29年度　交野市埋蔵文化財発掘調査概要
	平成30年度　交野市埋蔵文化財発掘調査概要　交野市埋蔵文化財調査報告2018－Ⅰ
交野市教育委員会 社会教育課	交野市文化財だより　第29号
	交野市文化財分布地図(平成30年改訂版)
交野市教育委員会 公益財団法人 大阪府文化財センター	交野市埋蔵文化財調査報告　2017-Ⅰ　公益財団法人　大阪府文化財センター調査報告書　第288集　坊領遺跡　星田北二丁目土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
河内長野市教育委員会	河内長野市文化財調査報告書第64輯　河内長野市埋蔵文化財調査報告書39　喜多町遺跡・高野街道・西高野街道・高向遺跡・上田宿跡・塩谷遺跡・醍所落代官所跡
	史跡烏帽子形城跡整備工事報告書
	シリーズ河内長野の遺跡12　ー発掘された建物跡ー
公益財団法人 元興寺文化財研究所	石川土城遺跡ー平成28年度発掘調査報告書ー
	藤原京右京十二条三坊・石川廃寺ー平成28年度発掘調査報告書ー
	公益財団法人　福武財団　2017年度　瀬戸内海文化研究・活動支援助成【SR2902】　兵庫県佐用町久崎　経納遺跡測量調査報告書
公益財団法人 元興寺文化財研究所 「平泉研究の資料学的再構築」石造物班	平泉周辺石造物集成
関西大学博物館	関西大学博物館彙報　阡陵　№76
	関西大学博物館彙報　阡陵　№77
	関西大学博物館紀要　第24号
関西大学博物館、 関西大学 「山本発山の書と学問」 展示会実行委員会	山本発山の書と学問ー湖南・雨山・鉄斎・南岳との文人交流ネットワークー
関西文化の日事務局	2018(平成30)年度　第16回関西文化の日実施報告書
京都市文化市民局	京都市内遺跡試掘調査報告　平成29年度
	京都市内遺跡詳細分布調査報告　平成29年度
	京都市内遺跡発掘調査報告　平成29年度
	芝古墳(芝1号墳)調査総括報告書～乙訓における後期首長墓の調査～　平成29年度
ゴーランド・コレクション 調査プロジェクト 京都橘大学	ゴーランド・コレクション総合研究の新知見に基づく　日本古墳時代像・研究史の再構築　ニュースレター4号
京都橘大学大学院	京都橘大学大学院研究論集　文学研究科　第16号
京都橘大学　文学部	京都橘大学　歴史遺産調査報告2017 山科大塚・小山石切丁場、二条城東側堀川石垣
公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報　第133号
	京都府埋蔵文化財情報　第134号
熊取町教育委員会	熊取町埋蔵文化財調査報告　第60集　熊取町遺跡群発掘調査概要報告書・ＸＸＸⅠ
神戸市教育委員会	平成29年度夏季企画展　"もったいない"の文化　リサイクル・リユースの考古学
	平成30年度神戸市埋蔵文化財センター　春季企画展　山にくらし、いのり、たたかう～神戸の山の考古学～
神戸市教育委員会 文化財課	"大輪田""兵庫"そして"神戸"～ミナトコウベの1300年～
	神出窯跡群発掘調査報告書　昭和56年度宮ノ裏支群・釜ノ口支群　昭和57年度　堂ノ前支群・田井裏支群・池ノ下支群・南下支群　昭和58・59年度　老ノ口支群　昭和62年度　万堤池支群
	北青木遺跡　第8次発掘調査報告書

発行	刊行物名
神戸市教育委員会 文化財課	兵庫津遺跡　第69次発掘調査報告書
	深江北町遺跡　第17次調査　埋蔵文化財発掘調査報告書
神戸市教育委員会 文化財課	平成27年度　神戸市埋蔵文化財年報
神戸市 埋蔵文化財センター	平成29年度冬季企画展　昭和のくらし・昔のくらし12
駐日カタール国大使館 国際文化財株式会社	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告51-2[TM156]　石見津和野藩亀井家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅳ
国立民族学博物館	月刊みんぱく　2018年4月号
学校法人慈恵大学 株式会社竹中工務店 株式会社四門	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告70【TM188】旗本妻木屋敷跡遺跡発掘調査報告書　学校法人慈恵大学　新外来棟（仮称）・中央棟他機能拡充工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
四条畷市教育委員会	四条畷市文化財調査報告　第55集　四条畷市文化財調査年報　第5号
信太の森ふるさと館	信太の森の鏡池史跡公園　ふるさと館ニュースNO.38
島本音楽協会	島本音楽協会40年のあゆみ
城陽市教育委員会	城陽市埋蔵文化財調査報告書　第77集
進化系アーカイブと旅するミュージアム実行委員会	文化庁平成29年度　地域の核となる美術館・博物館支援事業　進化系アーカイブと旅するミュージアム　平成29年度事業報告書
吹田市教育委員会	垂水南遺跡発掘調査報告書Ⅲ-垂水南遺跡第58次発掘調査-
	平成29(2017)年度　埋蔵文化財緊急発掘調査概報　垂水遺跡　高城B遺跡　吉志部瓦窯跡
吹田市立博物館	吹田市立博物館　館報18　　平成28年度（2016年度）
	吹田市立博物館だより　第75号
	吹田市立博物館だより　第76号
泉南市教育委員会	泉南市遺跡群発掘調査報告書XXXV　泉南市文化財調査報告書　第59集
	信達神社歴史的建造物調査報告書　泉南市文化財調査報告書　第60集
大東市教育委員会	再発見！とめやんと巡る　大東の歴史【古代編】
	大東市史編纂史料集8　諸福村東家文書
	大東市埋蔵文化財調査報告第41集　北新町遺跡一共同住宅建設に伴う発掘調査報告書一
大東市立 歴史民俗資料館	大東市立歴史民俗資料館　館報　第2号
高石市教育委員会	高石市文化財調査概要2017-1　大園遺跡他の発掘調査概要
高岡市産業振興部 産業企画課 高岡商工会議所	先端技術と伝統技術の融合による文化財修復拠点化事業
高槻市教育委員会	安満遺跡一平成26年度確認調査速報一
	安満遺跡一平成27年度確認調査速報一
	高槻市文化財調査概要45　嶋上遺跡群42
	高槻市文化財年報　平成27年度
高槻市立 今城塚古代歴史館	平成29年度夏季企画展くシリーズ　ハニワールドへようこそ>　威儀のもの　－王権儀礼の威容を示す器財埴輪一
	平成30年今城塚古代歴史館春季特別展　古代の日本海文化　一太遷波の古墳時代一
高槻市立今城塚古代歴史館・しろあと歴史館	高槻市立今城塚古代歴史館・しろあと歴史館　秋季合同特別展「藤原鎌足と阿武山古墳」
高槻市立 しろあと歴史館	〈第37回企画展　シリーズ「高槻の村と町」〉　樫田　丹波の山村と仏像・信仰
	しろあとだより　第16号
株式会社 地域文化財研究所	長岡京左京一条四坊七町跡600次発掘調査報告書
帝塚山大学 考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告ＸＸ
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報ＸⅢ
東京都 台東区教育委員会	台東区文化財調査報告書　第51集　浅草寺絵馬扁額調査報告書　浅草寺の絵馬と扁額
	台東区文化財調査報告書　第54集　浅草寺絵馬扁額調査報告書　浅草寺の絵馬と扁額一解説論考編一
豊中市教育委員会	豊中市文化財調査報告　第75集　本町遺跡　第43次発掘調査報告書
	豊中市文化財調査報告　第76集　豊中市埋蔵文化財発掘調査概要　平成29年度（2017年度）
	豊中市文化財調査報告　第77集　新免遺跡　第68・69・70次発掘調査報告書
富田林市教育委員会	富田林市文化財調査報告61　中野遺跡一倉庫の建設に伴う発掘調査報告（NN2016-1）一
	富田林市文化財調査報告62　平成29年度富田林市内遺跡群発掘調査報告書
	富田林市文化財調査報告63　錦織遺跡一倉庫建設に伴う発掘調査報告(NK2016-1)一
長岡京市教育委員会	長岡京市文化財調査報告書第71冊
公益財団法人 長岡京市 埋蔵文化財センター	センター設立30周年記念誌「埋もれていた歴史」
	長岡京市埋蔵文化財センター年報　平成28年度
	長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選(一)
	長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選(二)
	長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選(三)
	長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選(四)
	長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選(五)
	長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選(六)
	長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選(九)
	長岡京市埋蔵文化財発掘調査資料選(十)
西宮市教育委員会	西宮歴史調査団年報　2016年度版
西宮市立郷土資料館	西宮市立郷土資料館ニュース第48号　にしのみやデジタルアーカイブ始動～インターネットによる収蔵資料公開の取組み～

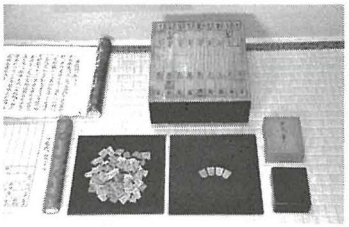
発行	刊行物名
西宮市立郷土資料館	西宮市立郷土資料館ニュース第49号　特別展示「八十塚古墳群の時代～武庫平野における群衆墳の成立と展開～」
	八十塚古墳群の時代～武庫平野における群衆墳の成立と展開～第34回特別展示　展示案内図録
	西宮歴史調査団年報2016年度版
公益社団法人 日本工芸会近畿支部	美しい「もの」をつくりたい一工芸作家と日本のお宝Ⅱ一
寝屋川市教育委員会	寝屋川市文化財資料30　国史跡高宮廃寺跡発掘調査報告書
羽曳野市教育委員会 生涯学習室 文化財保護課	古市遺跡群ＸＸＸⅨ　羽曳野市埋蔵文化財調査報告書81
	羽曳野市内遺跡調査報告書一平成27年度一　羽曳野市埋蔵文化財調査報告書82
阪南市教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進室	阪南市埋蔵文化財報告59　阪南市埋蔵文化財発掘調査概要37
東大阪市立 郷土博物館	平成30年度特別展示　海の幸山の幸　展示解説書
枚方市教育委員会	枚方市文化財調査報告第87集　枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2017
枚方市教育委員会 社会教育部 文化財課	ひらかた文化財だよりKAWARABAN 116号
	ひらかた文化財だよりKAWARABAN 117号
	ひらかた文化財だよりKAWARABAN 118号
	ひらかた文化財だよりKAWARABAN 119号
藤井寺市教育委員会	石川流域遺跡群発掘調査報告ＸＸＸⅢ　藤井寺市文化財報告第42集
	はざみ山古墳　一古市古墳群の調査研究報告Ⅶ一　藤井寺市文化財報告第43集
	藤井寺市発掘調査概報　第40号　野中宮山古墳(MYY2016-1区)
松原市教育委員会	たじひのだより　NO.17
松原市教育委員会 公益財団法人 大阪府文化財センター	松原市文化財報告　第2冊　公益財団法人　大阪府文化財センター調査報告書　第297集　池内遺跡 松原市天美東土地区画整理事業地区内における店舗建設に伴う池内遺跡（C2-4-6）発掘調査報告書
宗教法人　摩尼院	史跡　金剛寺境内（摩尼院門）整備事業報告書
森ビル株式会社・大林新星和不動産株式会社・港区教育委員会・大成エンジニアリング株式会社	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告68【TM181-4】　愛宕下武家屋敷群一陸奥一関藩田村家屋敷跡遺跡一発掘調査報告書
向日市文化資料館	特別展示図録　乙訓郡誌の編纂とその時代
八尾市	新版　八尾市史　近世史料編1一古文書で学ぶ江戸時代の八尾一
	新版　八尾市史　考古編1一遺跡からみた八尾の歩み一
八尾市教育委員会	八尾市文化財調査報告80　平成29年度国庫補助事業　八尾市内遺跡平成29年度発掘調査報告書
	八尾市文化財調査報告81　常光寺調査研究報告書
	八尾市埋蔵文化財分布図一平成30年度版一
公益財団法人　八尾市文化財調査研究会	公益財団法人八尾市文化財調査研究会報告157　1 恩智遺跡（第45次調査）Ⅱ恩智遺跡（第46次調査）Ⅲ東弓削遺跡（第30次調査）
	平成29年度（公財）八尾市文化財調査研究会事業報告
山口県立山口博物館	館報40　平成29年度（2017年度）
	山口県立山口博物館研究報告　第44号　2018年3月
八幡市教育委員会	八幡市埋蔵文化財発掘調査報告　第64集　平成28年度国庫補助事業発掘調査報告書
	八幡市埋蔵文化財発掘調査報告　第65集　平成29年度国庫補助事業発掘調査報告書
立命館大学COE推進機構 立命館大学歴史都市防災研究センター 京都歴史災害研究会	京都歴史災害研究　第1号
	京都歴史災害研究　第2号
	京都歴史災害研究　第3号
	京都歴史災害研究　第4号
立命館大学歴史都市防災研究センター 京都歴史災害研究会	京都歴史災害研究　第5号
	京都歴史災害研究　第6号
	京都歴史災害研究　第7号
	京都歴史災害研究　第8号
	京都歴史災害研究　第9号
	京都歴史災害研究　第10号
	京都歴史災害研究　第11号
	京都歴史災害研究　第12号
	京都歴史災害研究　第13号
	京都歴史災害研究　第14号
立命館大学歴史都市防災研究所 京都歴史災害研究会	京都歴史災害研究　第15号
	京都歴史災害研究　第16号
	京都歴史災害研究　第17号
	京都歴史災害研究　第18号
	京都歴史災害研究　第19号
	京都歴史災害研究　第20号
龍谷大学 文化遺産学研究会	文化遺産研究　創刊号
龍谷大学文学部歴史学科 文化遺産学専攻	考古学実習・文化財実習報告書第1集
一般社団法人 歴史文化研究所	一般社団法人　歴史文化研究所　発掘調査報告書第6集　上久世遺跡

町指定文化財一覧

島本町文化財保護条例が平成 20 年 7 月 1 日に施行されました。
島本町文化財保護審議会にて審議していただき、下記の文化財を指定しました。

平成 21 年度　島本町指定文化財　第 1 号

名　　称　：　水無瀬駒　関連資料
指 定 日　：　平成 21 年 4 月 14 日
所 有 者　：　水無瀬神宮（個人）
所 在 地　：　広瀬三丁目
種　　類　：　有形文化財
種　　別　：　美術工芸品（歴史資料）
員　　数　：　小将棋（漆書・八十二才銘）一揃
　　合計 39 枚 飛車が欠落
　　中将棋（墨書・八十六才銘）一揃
　　合計 91 枚 歩兵が欠落
　　中将棋（漆書）残欠四枚
　　象戯圖　一巻、附 象戯圖　一巻
時　　代　：　安土桃山時代



平成 22 年度　島本町指定文化財　第 2 号

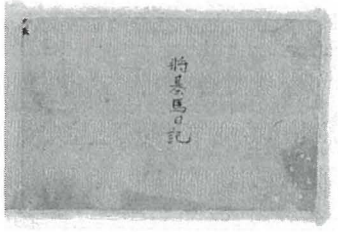
名　　称　：　神像（伝 聖徳太子七歳像）
指 定 日　：　平成 22 年 4 月 5 日
所 有 者　：　若山神社
所 在 地　：　大阪市立美術館　寄託
種　　類　：　有形文化財
種　　別　：　美術工芸品（彫刻）
員　　数　：　1 躯
品質･形状　：　ヒノキ材・一木造り・彫眼・彩色仕上げ
法　　量　：　像高　35.8cm
時　　代　：　平安時代後期

平成 23 年度　島本町指定文化財　第 3 号

名　　称　：　宝城庵　薬師如来立像
指 定 日　：　平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者　：　宝城庵
所 在 地　：　桜井三丁目
種　　類　：　有形文化財
種　　別　：　美術工芸品（彫刻）
員　　数　：　1 躯
品質･形状　：　ヒノキ材・一木造り・彫眼・彩色仕上げ
法　　量　：　像高　96.5cm
時　　代　：　平安時代後期

平成 23 年度　島本町指定文化財　第 1 号追加

名　　称　：　将棊馬日記
指 定 日　：　平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者　：　水無瀬神宮（個人）
所 在 地　：　広瀬三丁目
種　　類　：　有形文化財
種　　別　：　美術工芸品（歴史資料）
時　　代　：　17 世紀初期
員　　数　：　一冊



平成 24 年度　島本町指定文化財　第４号

名　　称　：　勝幡寺　薬師如来立像
指 定 日　：　平成 24 年４月１日
所 有 者　：　勝幡寺
所 在 地　：　山崎四丁目
種　　類　：　有形文化財
種　　別　：　美術工芸品（彫刻）
員　　数　：　１躯
品質･形状　：　ヒノキ材・割矧ぎ造りか・彫眼・漆箔仕上げ
法　　量　：　像高　150.1cm
時　　代　：　鎌倉時代

平成 26 年度　島本町指定文化財　第５号

名　　称　：　勝播寺　元三大師みくじ関係資料　一式
指 定 日　：　平成 26 年４月１日
所 有 者　：　勝播寺
所 在 地　：　山崎四丁目
種　　類　：　有形文化財
種　　別　：　民俗（有形民俗）
時　　代　：　江戸時代（一部推定を含む）
品　　目　：　みくじ箋の版木、みくじ箱、
　　みくじ竹、みくじ箪笥

平成 27 年度　島本町指定文化財　第６号

名　　称　：　須恵器　大甕
指 定 日　：　平成 27 年４月１日
所 有 者　：　島本町教育委員会
所 在 地　：　桜井二丁目
種　　類　：　有形文化財
種　　別　：　美術工芸品（考古資料）
員　　数　：　１口
法　　量　：　口径　52.6 cm
　　器高　105.0 cm
　　最大胴部径　107.8 cm
　　（底部から 65.9 cmの地点）
　　容量　522.6ℓ
時　　代　：　奈良時代末期から平安時代

平成 29 年度　島本町指定文化財　第７号

名　　称　：若山神社　絵馬
指 定 日　：平成 30 年１月 15 日
所 有 者　：若山神社
所 在 地　：字広瀬 1497
種　　類　：有形文化財
種　　別　：民俗（有形民俗）
時　　代　：江戸時代
員　　数　：曳馬図絵馬１　　一面
　　曳馬図絵馬２　　一面
　　猿猴乗馬図絵馬　　一面
　　竹虎図絵馬　　一面

曳馬図絵図１

島本町立歴史文化資料館　館報 第11号
平成30年度版（2018）

発　行　島本町教育委員会
〒618-8570
大阪府三島郡島本町桜井二丁目1番1号
TEL 075-961-5151
発行日　令和元年12月
印　刷　株式会社　西川印刷所
〒567-0828
大阪府茨木市舟木町18-30
TEL 072-634-7644